

NEWS RELEASE



国土交通省 近畿運輸局

【問い合わせ先】

近畿運輸局 交通政策部 共生社会推進課

(担当) 梶原・西村 (電話) 06-6949-6431

令和7年9月19日

国土交通における優良なバリアフリーの取組を表彰

～ 令和7年度近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰 ～

近畿運輸局は、当局管内に所在し、バリアフリー化の推進に多大な貢献が認められた団体等に対して、「バリアフリー化推進功労者表彰」を実施しています。

下記のとおり、受賞が決定しましたのでお知らせします。

＜表彰式＞ 日時 : 令和7年9月26日(金) 11時から
場所 : 大阪合同庁舎第4号館 13階 大会議室

記

【優秀賞】(連名受賞)

《主な受賞理由》

阪急バス株式会社茨木営業所	障害当事者が参画したバス乗務員向け接遇
茨木の街のバリアフリー化を考える連絡会	研修の継続的实施

【奨励賞】(それぞれ連名受賞)

《主な受賞理由》

学校法人京都文教学園京都文教大学 宇治市	市・大学の連携による心のバリアフリー推進
西日本旅客鉄道株式会社 大阪市高速電気軌道株式会社	2025年大阪・関西万博開催に向け、2社連携 により弁天町駅の乗り換えをバリアフリー化

特に秀でた取り組みを優秀賞としています。内容は別紙を参照ください。

取材申し込み方法等は、別紙1をご覧ください。

配布先：青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、
京都府政記者クラブ、陸運記者会（ハイク部会）

令和7年度近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰

優秀賞
(連名受賞)

阪急バス株式会社茨木営業所

(大阪府茨木市上郡二丁目14番5号)

茨木の街のバリアフリー化を考える連絡会

(大阪府茨木市中津町3番26号 NPO法人自立生活センターほくせつ24内)

受賞者の取り組み

障害当事者が参画したバス乗務員向け 接遇研修の継続的实施

阪急バス株式会社茨木営業所と茨木の街のバリアフリー化を考える連絡会は、障害当事者自らが講師となる研修を2012年から現在に至るまで(コロナ禍の2020年度から2022年度を除く)毎年1回継続して研修を実施している。

障害理解に関する講義を実施するとともに、手動車椅子の方、電動車椅子の方、視覚障害の方、言語障害の方の乗降やコミュニケーションに関する実技を交えた講習を実施している。

阪急バス株式会社茨木営業所の働きかけにより、現在では京阪バス株式会社高槻営業所、近鉄バス株式会社鳥飼営業所など茨木市内を運行する他のバス会社に参加が広がり、毎年70名以上が参加する大規模な実地研修となっている。

研修参加者からは高い評価を得ており、また、一般の障害当事者の方からは運転者の対応が良くなったという声が聞こえてきている。

接遇研修の実施風景



電動車椅子ユーザーによる講義



年々講義内容をブラッシュアップしており、令和6年度は近年普及が進んでいるWHILL社製の電動車椅子の固定方法を取り上げた。



視覚障害当事者による講義と実習



手動/電動車椅子の操作・乗降に関する実習



言語障害当事者による講義と実習

講 評

障害当事者からの提案をきっかけに障害当事者と交通事業者と協働体制で研修を実施し、相互理解とコミュニケーションの実技を交えた研修を行ったことが特徴的であり、講師と受講者の双方向のやりとりを通じた学びの機会となっている点が特に評価できる。市内を運行する他のバス事業者も研修に参加するなど、地域のバリアフリー化推進に貢献している点も良い。

今後は、研修の更なる継続的实施と内容のスパイラルアップに期待するとともに、この取組が模範となって他地域にも波及していくことにも期待したい。

令和7年度近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰

学校法人 京都文教学園 京都文教大学

(京都府宇治市槇島町千足80番地)

宇治市

(京都府宇治市宇治琵琶33番地)

奨励賞
(連名受賞)

受賞者の取組

市・大学の連携による心のバリアフリー推進

宇治市では、令和5年度よりハード整備に加え心のバリアフリー推進のため、今後、社会に出ていく大学生に対する心のバリアフリーの啓発を行うとともに、広く市民に広報するための手法等を検討するため、京都文教大学との連携事業の取組を継続して実施。

単なる市の出前講座としてではなく、大学の授業の一環として、バリアフリーに関する行政の取組を学ぶとともに、当事者の講話や疑似体験を通じて学生の気づきを促し、更に学生自らが心のバリアフリーを地域住民等へ啓発するなど、広がりのある取組となっている。

令和7年度以降は大学側の提案により、プロジェクト科目として後期に15回の授業を協力して実施することが決まっており、更なる連携や取組の強化を予定している。

取組の流れ

Kyoto Bunkyo University

京都文教大学

宇治市



①事前学習



④ともフェス※出展
(地域への啓発)



※「ともいぎ(共生)フェスティバル」...大学主催のイベント。地域住民へ大学を開放し、子ども、高齢者、障害者や留学生等、様々な人々が集い、楽しみながら交流する場として2014年より開催している。



②体験学習



③まとめ・周知検討



聴覚障害当事者
による講話や交流

講 評

地方公共団体と大学が連携して取組を推進している点は評価できる。大学教育の中で障害当事者の参加をしっかりと位置づけており、事前学習や疑似体験を授業の中で取り入れ、イベントを契機に学生や市民に心のバリアフリーについて学ぶ機会を提供している点も良い。

今後は、取組の内容充実や継続的实施によって、新たな人材輩出がなされるなどの波及効果が一層生じていくことにも期待したい。

令和7年度近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰

奨励賞
(連名受賞)

西日本旅客鉄道株式会社
(大阪府大阪市北区芝田二丁目4番24号)
大阪市高速電気軌道株式会社
(大阪市西区九条南1丁目12番62号)

受賞者の取り組み

2025年大阪・関西万博開催に向け、2社連携により弁天町駅の乗り換えをバリアフリー化

弁天町駅は、2025年の大阪・関西万博の来場者輸送におけるJR 大阪環状線とOsaka Metro 中央線との重要な交通結節点となる駅であり、バリアフリー機能の充実に向けた駅改良を実施し、2025年3月に供用開始した。

西日本旅客鉄道株式会社は、ホーム拡張や駅中央部の高架下に新たな駅舎および改札口を整備するとともに、各バリアフリー設備として、万博のアクセシビリティガイドラインに則った17人乗りエレベーターの整備を行ったほか、改札内の利用しやすい位置にバリアフリースイートの整備を行った。また、鉄道駅バリアフリー料金制度を活用のうえ、可動式ホーム柵整備を実施した。

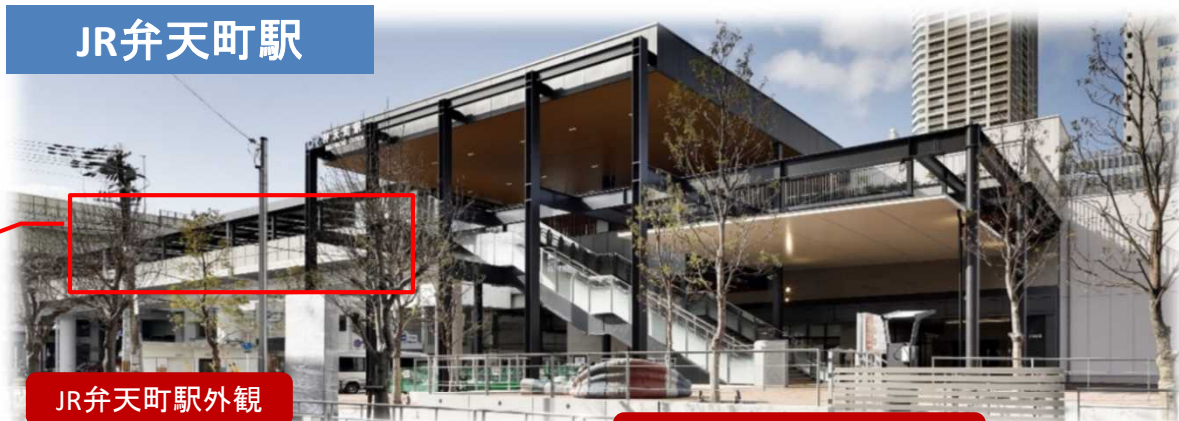
大阪市高速電気軌道株式会社は、改札階からホーム階へのアクセス階段を新設するとともに、改札内の有効スペースを拡張し、エレベーターを利用される際に余裕をもって待てる空間を確保した。さらに、計画的に取り組んできた可動式ホーム柵の設置及びホームと車両の段差・隙間を縮小する対策を完了させた。

これまでエレベーターを経由しなければアクセスできなかったJR 大阪環状線内回りホームからOsaka Metro 中央線東改札口の経路を同一階で直接つなぐ連絡通路を整備した。2社が密な連携を取り各管理者等との調整を図ることにより迅速に整備を実施し、万博開催までに供用が開始された結果、利用者の利便が向上した。

連絡通路



JR弁天町駅



JR弁天町駅外観

改札内バリアフリースイート



Osaka Metro弁天町駅



エレベーター前空間の拡張

可動式ホーム柵の設置推進

講評

2025年大阪・関西万博開催に向けて両社がタッグを組み、ホーム・エレベーターなど個別の整備にとどまらず、同一階で直接つながる連絡通路を整備するなど、困難な相互調整を経て駅のアクセシビリティ向上を達成した点は評価できる。

今後は、利用者意見も一層取り入れながら駅設備を整備し、バリアフリー化を更に推進することに期待したい。

「令和7年度近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰式」

取材申し込みについて

取材をご希望の方は、**9月24日（水）12:00 まで**に申し込みをお願いいたします。

「令和7年度近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰式」の取材申し込み

〈メールアドレス〉 kkt-barrier-free@ki.mlit.go.jp

〈FAX〉 06-6949-6169 （別紙2をご使用ください。）

取材申し込みメールには下記事項をご記入願います。

- ① 氏名 （ふりがな）
- ② 所属 （会社名または団体名）
- ③ 住所 （郵便番号も記載）
- ④ 連絡先 （TEL）
- ⑤ 連絡先 （メールアドレス）

メールで申し込みの場合、受付した旨を返信いたします。

FAXで申し込みの場合、受信確認のため、お電話をお願いいたします。

なお、表彰式前日午前中までに返信等がない場合は、

共生社会推進課（TEL：06-6949-6431）までお問い合わせください。

【お願い】

- ・ 取材にあたっては、必ず会社名の記載された「腕章等」をご着用ください。
- ・ 取材は最低限の人数でお願いします。
- ・ 咳などの風邪症状、発熱等、体調不良のある方は参加をご遠慮ください。

「令和7年度近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰式」

取材申込書（FAX）

返信先：近畿運輸局 交通政策部 共生社会推進課 あて

FAX番号：06-6949-6169

ふりがな 氏 名	
所属 (会社名または団体名)	
郵便番号 住所	〒 —
連絡先（TEL）	
連絡先（メールアドレス）	

※ 送り状は不要ですので、本紙のみをそのままFAXして下さい。なお、お手数ではございますが、FAX送信後、受信確認のため、下記の【受信確認先】までご連絡ください。

【受信確認先】

近畿運輸局 交通政策部 共生社会推進課 TEL：06-6949-6431